

国境を超える『遠距離ケア』

2023年10月14日（土）14：00～16：00

渥美国際交流財団ホール（先着20名）およびオンライン（Zoomミーティング）の
ハイブリット開催、参加無料

参加には事前登録が必要です。

（最後のページ「参加にあたってのお知らせ」をご参照ください）

【趣 旨】

社会がグローバル化する中で世界を移動する人々の数も急激に増加している。国連の2013年の調査によると世界人口の約3.2%が移動人口に当たると言われている。日本に目を向けると、外国人移住者数も年々増加しており、滞在の長期化も進んでいる。出入国在留管理庁のデータによると、2022年6月末の在留外国人数は296万人で、前年末に比べ20万人（7.3%）も増加したことが分かった。

こうした変化の中、在日外国人移住者もまた新たな課題に直面している。在日外国人移住者は日本での生活基盤を自ら構築することはもちろん、母国に残る家族の健康、介護問題も考えざるをえない。こういった外国人ならではのライフワークバランスはキャリアにも影響する。またコロナ禍では、日本における外国人の（再）入国制限のため自由に日本と母国の間に行き来できず、帰国したくてもできなかった事例や、家族のために日本での生活を諦めて帰国を選択した者も見られる。

今回のカフェでは

- ① 日本における国境を超える遠距離介護の実態と背景
- ② 海外における事例と取組み
- ③ 課題の改善策

の3点について参加者と一緒に考え、ディスカッションを通して継続的に成長するグローバル社会に有意な示唆を得る事を目的とする。

【プログラム】

- 14:00 開会挨拶
- 14:05 ケア状況や遠距離ケア問題について紹介
- 14:55 質疑応答
- 15:10 ディスカッションの準備（グループ分けと課題の提起）
- 15:15 グループディスカッション
- 15:35 ディスカッション内容の報告
- 15:55 閉会挨拶

【参加にあたってのお知らせ】

- 参加には事前登録が必要です。



QR コードまたはURL からお申込みください。

<https://us02web.zoom.us/meeting/register/tZEldEgvqDIoHtGhPStPxtyAE8hKB4YAyGdw>

- お問い合わせ

SGRA 事務局：sgra@aisf.or.jp

- 渥美国際交流財団ホール

〒112-0014 東京都文京区関口 3-5-8

Tel：03-3943-7612

地図：<https://www.aisf.or.jp/jp/map.php>



【討論者紹介】



司会、討論者：アキバリ・フーリエ

イラン出身。千葉大学博士後期課程終了（2018年博士号取得）。千葉大学特別研究員、白百合女子大学国語国文学科の非常勤講師。2017年度渥美奨学生。日本に在住している外国人、主にイラン人やアフガニスタン人難民の言語環境や言語問題の実態について社会学・言語学の立場から研究。多文化共生社会・異文化理解とコミュニケーションについて研究・教育活動。本カフェでは日本在住の外国人問題という視点から「母国に残る家族への『支援』や『ケア』」について考える。



討論者：張悦（ちょうえつ）

中国・上海出身。2001年に来日、大学、就職、独立、介護福祉一筋。株式会社張福祉コンサルティング代表 越境コミュニティ「ワールドケアカフェ」主宰。「日本における外国人介護労働者の受入れと長期定着」の研究活動を進行中。今回のカフェで国境を超える新しい介護の循環と連鎖について皆さんと一緒に考えて行きたい。



討論者：レティツィア・グアリーニ

イタリア出身。お茶の水女子大学博士後期課程終了（2021年博士号取得）。法政大学国際文化学部専任講師。2017年度渥美奨学生。日本現代文学における家族の表象、フェミニズムやジェンダー・セクシュアリティについて研究・教育活動。本カフェではケアする人の精神的な負担やケアする人のケアに焦点を当てて遠距離ケアについて考えたい。



討論者：ファスベンダー・イザベル

ドイツ出身。東京外国語大学博士後期課程終了（2020年博士号取得）。関西外国語大学Asian Studies Program 助教。2017年度渥美奨学生。日本における生殖をめぐる政治学、家族社会学、フェミニズムなどをフィールドに研究・教育活動。本カフェではジェンダー・国籍・階級などを交差させて、日本に根を下ろしている外国人の立場から「ケア」という問題を多面的に考えたい。



討論者：沈 雨香

韓国出身。早稲田大学博士後期課程終了（2020年博士号取得）。早稲田大学国際学院助教。2017年度渥美奨学生。教育社会学を専門に中東湾岸諸国、日本、韓国における高等教育とジェンダーについて研究・教育活動。本カフェでは昨今「国境を超えるケア」が注目される背景を踏まえ、ボーダレス化が進む世界における新しい「ライフサイクル：ゆりかごから墓場まで」について考えたい。